

Androidスマホ用Onshapeの使い方



- 画面は小さいですがタブレットと同等のモデリングができます
- 作図作業はすべて画面を指先でタップまたはドラッグすることで行います

旭川高専 kashikashi

2021.5.31

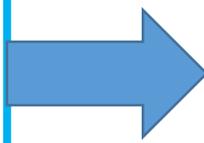
2021.6.12

Androidスマホ用Onshapeの特徴

① androidスマホ用の無料版Onshapeでは

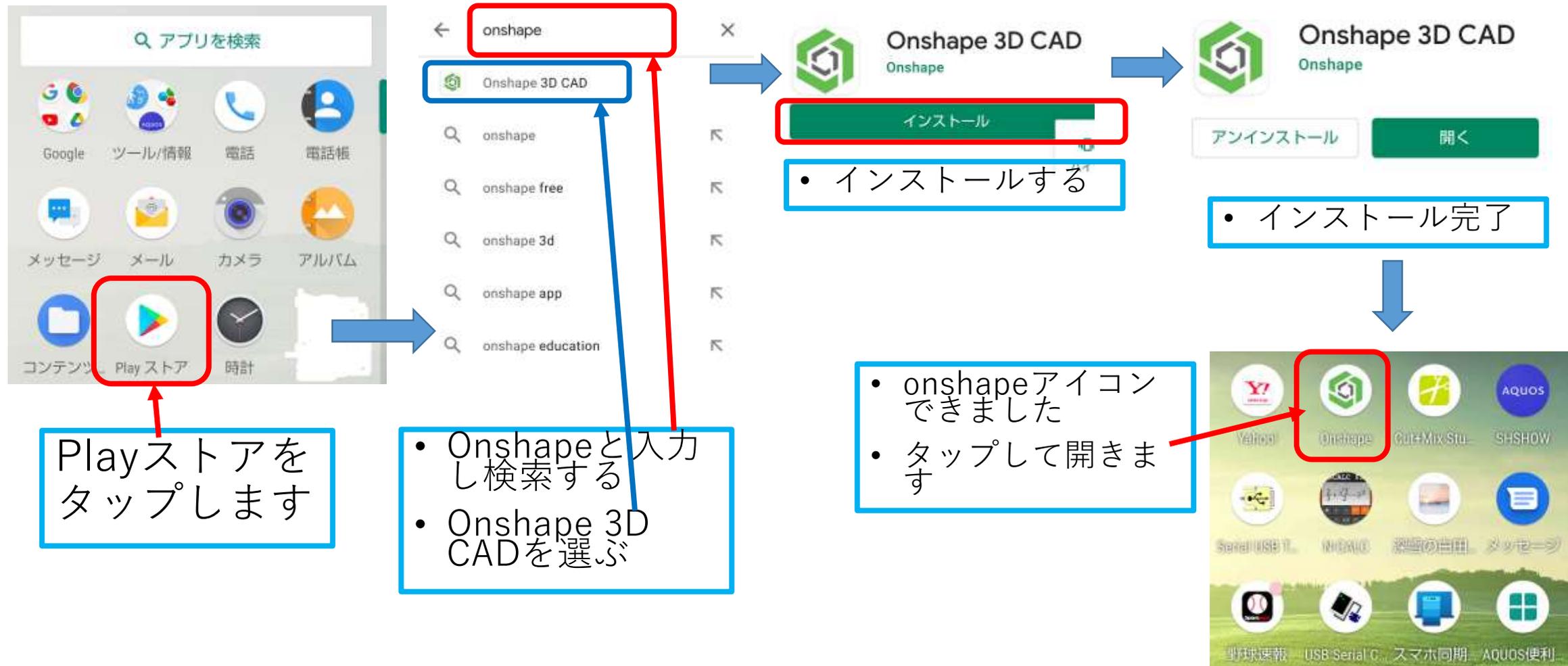
- 図面作成ができない
 - アニメーションができない
- ようです

② WEBブラウザからの使用ではなく、PlayストアからOnshapeをダウンロードして使います



- ダウンロードしたOnshapeはアプリケーションではなく、WEBブラウザの代わりのもので、Onshape本体がダウンロード・インストールされたわけではありません
- Onshapeと作製したドキュメントはクラウド上にあります

Androidスマホ用Onshapeを使えるようにしよう



Androidスマホ用Onshapeを使えるようにしよう



- メールアドレスとパスワードを入力しサインインする
- アカウントが無ければ作成できます



- My Onshapeをタップする

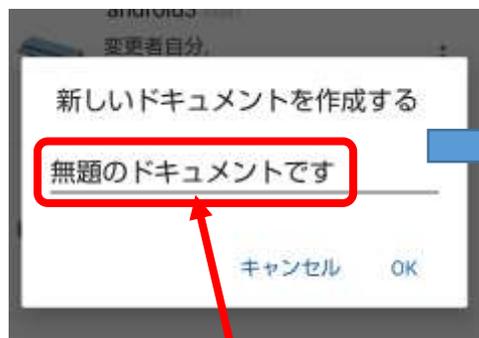


- +マークをタップ

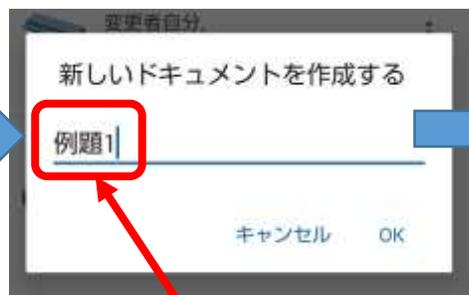


- モデルを作成するために「ドキュメントを作成する」をタップ

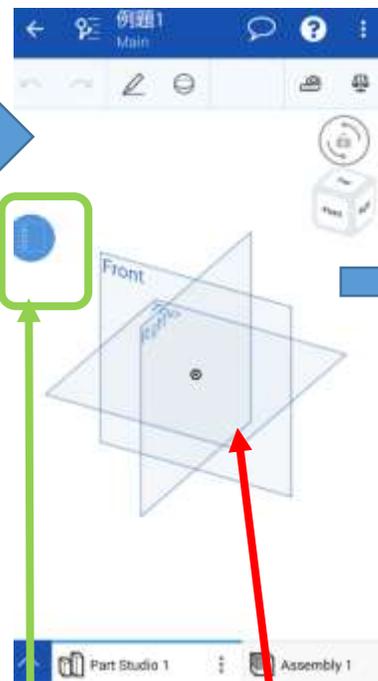
Androidスマホ用Onshapeを使えるようにしよう



- 「無題のドキュメントです」と書いてある欄にドキュメント名を入力します



- 例えば「例題1」と入力します



- ワークスペースが現れる
- ここをタップするとフィーチャーリストが現れる

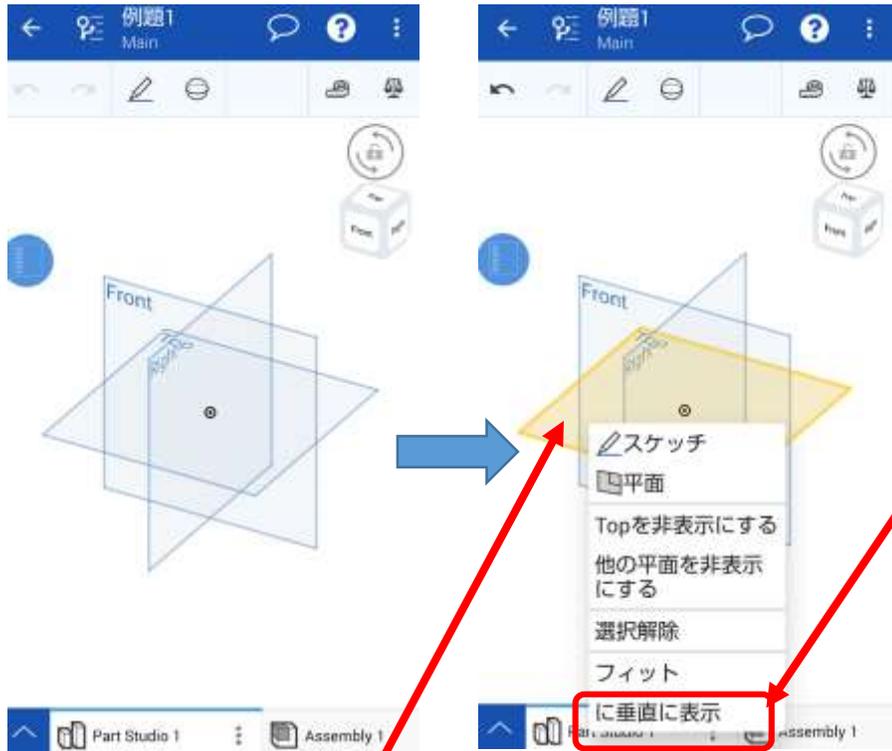


- 作成したスケッチ、フィーチャーが表示される
- 画面が小さいので一部のみ表示されるが指でスクロールすると現れます

- 再度、ここをタップするとリストが引込む

- Androidスマホでのモデリングはすべて画面を指先でタップすることにより行います
- そのため操作方法がマウスを使うwindows PCとは少し異なります

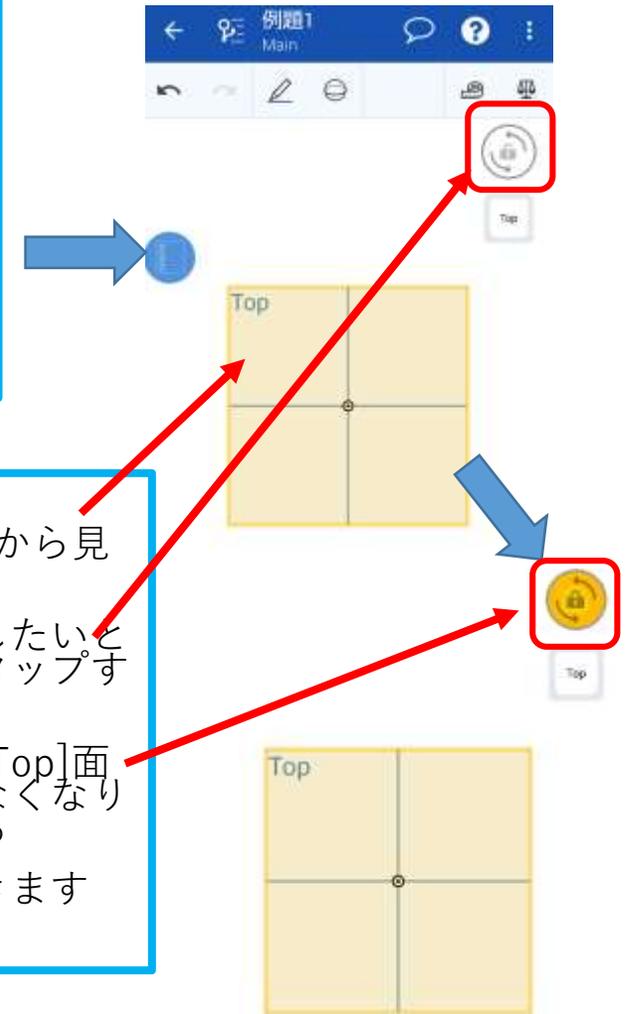
Androidスマホでブロックを作ろう



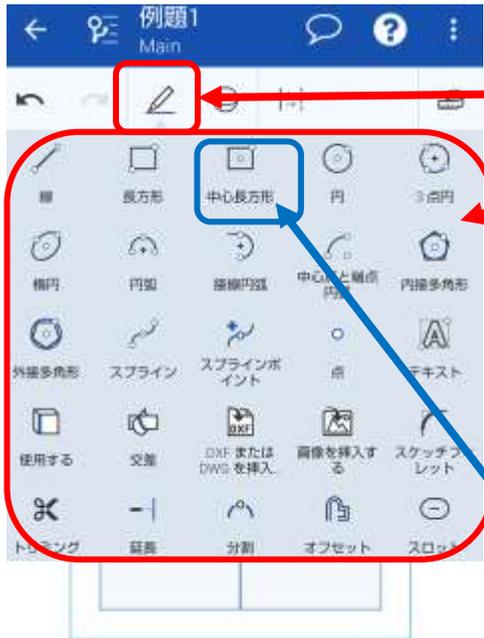
- [Top] (平面図) で作業するときには、[Top]面をタップする
- 選択された面はオレンジ色になる
- 選択解除したければワークスペースの空いているところでダブルタップすると選択解除されオレンジ色が消える

- [Top]面を正面から見たいので、選択した[Top]面を「人差し指と中指で同時に軽くタップ」します
- すると図のウィンドウが現れるので「に垂直に表示」をタップします
- 「に垂直に表示」をタップする

- [Top]面を真正面から見れる
- この状態を固定したいときは、この円をタップする
- 円が黄色になり[Top]面は回転せず傾かなくなり作業しやすくなる
- 拡大・縮小はできます



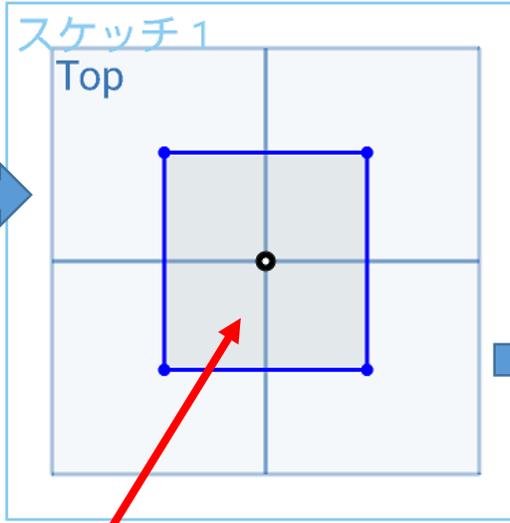
Androidスマホでブロックを作ろう



- 鉛筆アイコンをタップする
- 下のスケッチツールリストが現れる
- 画面が小さいため一部しか表示されないが、スクロールすれば下からほかのスケッチツール現れる

中心長方形をタップします

- Windows PCではスケッチツールバーが現れますが、androidスマホではリストです

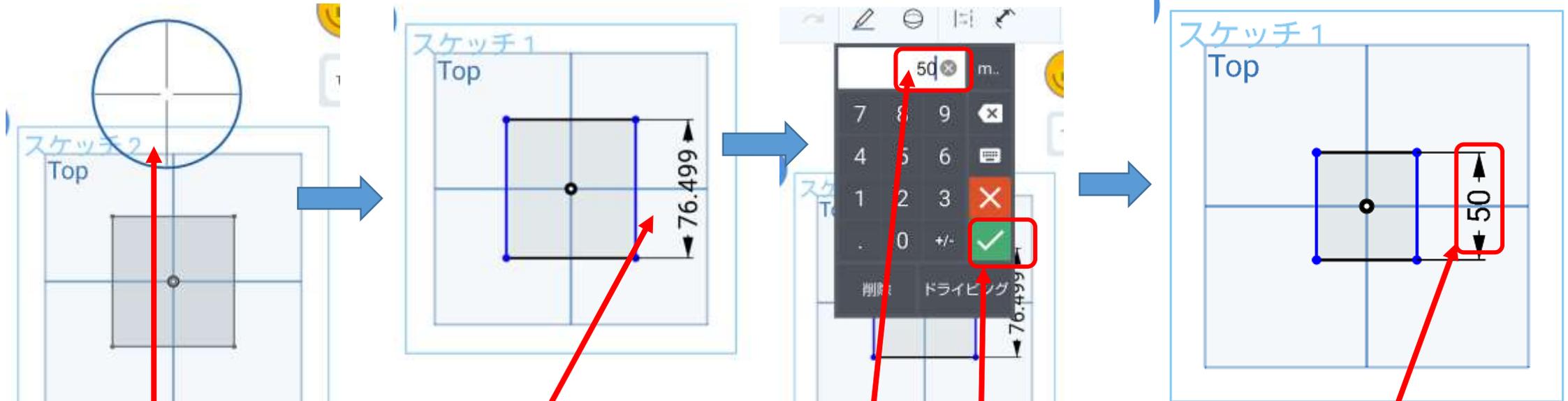


- 画面をタッチすると長方形の中心点[+]が現れるので、原点まで指を滑らせ中心点を原点に移動します
- 指を画面から離し、もう一度タッチするまで指を滑らせて適当な大きさの長方形にしてから指を離します



- 鉛筆アイコンをタップする
- スケッチツールリストが現れる
- 画面が小さいため一部しか表示されないのスクロールすると下からほかのスケッチツール現れる
- 寸法をタップする

Androidスマホでブロックを作ろう



- 画面を長押しすると寸法を設定するための円形ポインタが現れる

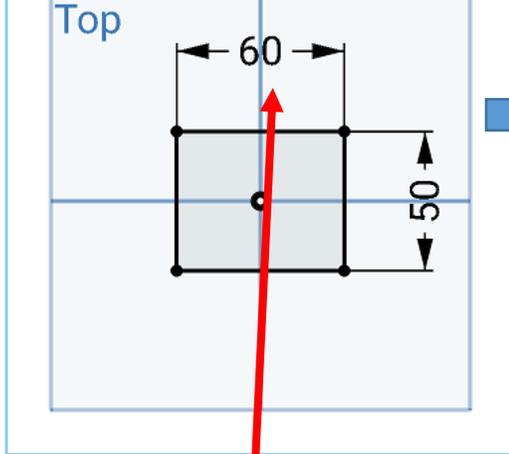
- 円形ポインタをいれたら寸法を変更する寸法が現れる

- 現れた寸法を1回タップすると寸法入力用キーボードが現れる
- 50と入力して緑のチェックをタップする

- 寸法が50mmになる

Androidスマホでブロックを作ろう

スケッチ1



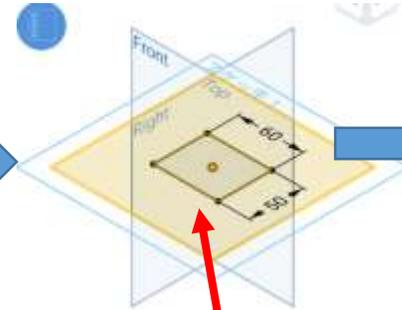
- 同様にして上の辺の寸法を60mmにする



- ワークスペースの右のコンソール(サイコロ)をタップする



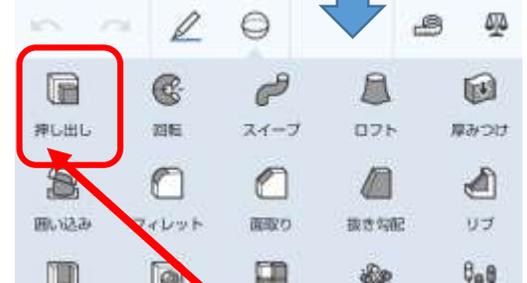
- リストが現れるので「アイソメトリック(等角投影)」をタップする



- アイソメトリックにすると押し出しが分かりやすくなる

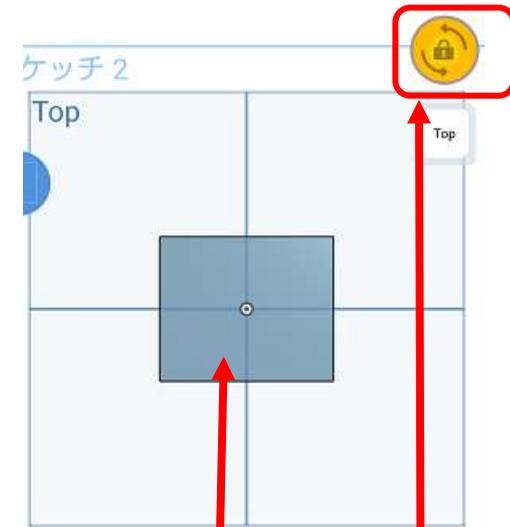
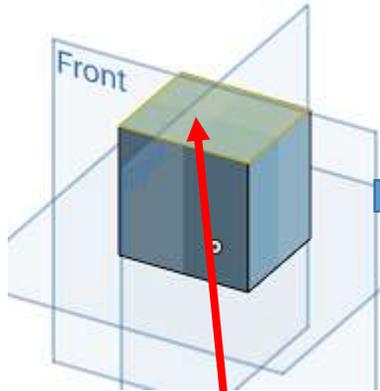


- ワークスペース上のフィーチャーをタップする



- フィーチャーツールリストが現れるので「押し出し」をタップする

Androidスマホでブロックを作ろう



- 押し出したブロックの上面をタップする
- 上面がオレンジ色になり選択される
- この面が新たなスケッチ面となり、この面を指定して形状を指定できる

- スケッチツールをタップする
- 下にスケッチツールが現れるので「長方形」をタップする

- ワークスペース上を2本の指で同時に軽くタップする（中指と人差し指）と右側のウィンドウが現れるので「スケッチ平面に垂直に表示」をタップする

- スケッチ面が垂直に見える
- この垂直状態を固定するため、右上の円をタップすると固定される

Androidスマホでブロックを作ろう

スケッチ 2
Top

スケッチ 2
Top

押し出し 2

奥行き 20.0 mm

Front
Top

- ワークスペースを長めにタッチすると「+」ポイントが現れるので上の辺にドラッグして指を離し、再びタッチして下の辺にドラッグすると長方形ができる
- 同様に2つめの長方形を上から下の辺まで作る
- スケッチツールをタップする
- 下にスケッチツールが現れるので「寸法」をタップする
- 上図のように寸法をいれる
- 奥行き20mmで押し出す
- チェックをタップして確定する
- ブロック完成です